

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プレザントアリス (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 7日		～ 令和8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名 (26世帯)	(回答者数) 24件
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 20日		～ 令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達状態や特性に配慮したSST(集団行動、個人)に取り組んでいます。	個々のニーズや課題に合わせた支援を行っています。普段の生活の行動や活動プログラムの中に必要な5領域を取り入れながら、自信に繋がるようにしていきます。	職員間でケース会議等を通して、日々の支援内容や活動プログラムを話し合い、保護者に分かりやすくお伝えしていく方法を検討していきます。
2	活動や環境に応じてのスペースがあり、特性に応じて過ごしやすい整備を整えています。	活動や特性に合わせた部屋を設けています。部屋の中も仕切りを使い、個々の空間ができるような環境設定を行っています。エレベーターや室内に広いトイレを設置している為、誰でも安心して過ごせるように設けています。	特性の違いから利用児一人一人が不安定にならないように、活動や余暇時間を分ける等、過ごしやすい時間をつくるよう努めています。
3	施設内に未就学から生活介護、相談支援の複数の事業所があり、ライフステージに沿った支援や情報共有ができます。	ライフステージの移行に伴う情報交換を充実させています。また将来を見据えた支援を展開できるように、それぞれの事業所の課題や事案についての情報共有する機会を定期的に設けています。	子ども食堂等を通じて地域の繋がりを更に広げていき、将来に見据えた支援に繋がるよう努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加型の活動や保護者会の充実不足。子ども食堂への情報共有が低い。	感染症の流行に伴い、施設開放や活動を活動を制限しておりました。保護者が対面で会合に参加する時間の確保が困難であることも課題の要因になっています。	子ども食堂への認知の為、情報共有を強化していきます。保護者の皆様同士の交流や子ども達の交流の機会を設定し、時間や日程が無理なく実施に繋げていけるように計画をしていきます。
2	家族支援プログラム等の研修の充実不足。	家庭環境の課題や保護者の悩みにアプローチできる専門的な知識が十分とは言えない状況にあります。	行政や社会福祉協議会が主催する家族支援プログラムの研修へ職員が参加し、支援スキル底上げを図り、研修で得た知識を共有できるような勉強会の開催し、事業所全体で支援方針の共通認識を構築していきます。
3	非常時に対する保護者評価が低い。	避難訓練は定期的には実施していますが、実施内容の可視化不足になっていました。災害発生時の引き渡し方法や連絡ルートについて、入所時以外の最終地が徹底しておらず、保護者の認知度が低いことがあります。	保護者が抱く不安を解消する為、情報の透明性を高めていきます。マニュアルを分かりやすく改正し、避難場所、安否確認方法、引き渡し手順を可視化する事で理解度を深めていきます。